



『広島新生学園』は、終戦直後より事業を開始して60年以上。送り出した子どもは2000人を超えています。現在は、幼児から高校生まで、76人の子どもの心に深く刻まれた傷を癒す養育を行っています。また、職員の専門性を高めるため、研修などにも積極的に参加。ヒューマニズムを基本にした教育を実践する学園の姿勢には、数多くの称賛が寄せられています。

児童養護施設が運営する保育施設の屋根を修理。 夏は涼しく、冬は暖かい環境で幼児が育てられます。

児童養護施設の幼児は、2つの福祉は受けられないため認可された保育所へ通うことができません。そのため、『広島新生学園』では施設内で約30年前から昼間保育の「ひまわりの園」を運営。これは、児童養護施設の中だけで暮らす子どもにとって、地域の子どもと触れ合うことで外の社会に触れる貴重な機会となっています。しかし、認可外のため公金支給はなく、施設的环境整備に手をつけることができませんでした。今回のご支援は、夏は焼けつくように暑く、冬は冷気をそのまま伝えていた屋根の修繕費用に充てさせていただきました。一年を通して子ども達の健康を保つことができ、感謝しております。



屋根内に断熱材を入れ、波板も新調した「ひまわりの園」。



子ども達が老人ホームを訪問。ピアノ演奏を聴いてもらいました。



夏冬が快適になった「ひまわりの園」棟内。

今後の展望

『広島新生学園』では、児童の人権を尊重し、その意識とニーズの把握を通して、彼らの秘められた可能性を発見・助長していく養育をめざしています。今後も、職員と児童とのよきチームワークのもと、養護計画に基づく一貫した処遇に努めていきます。

ボランティア情報

- 10月…運動会
- 12月…クリスマス会
- 学習指導（児童）
- スポーツ交流

施設グラウンドで、軟式野球・ソフトボール試合等も行っていきます。皆様もお気軽にご参加ください。施設見学は随時受け付けています。

※ボランティアへの参加を希望される方は、EXAまでお問い合わせください。